

「DXShip（デジシップ）ひろしま」の構築

～デジタルパーソンがあつまる「しま」へ



令和4年 県・市町情報人材研究会

1 情報システム人材確保育成に向けた取組の方向性

目指す姿

- ひろしまをフィールドとし、情報システム人材（デジタルパーソン）が活躍している。
- 県・市町それぞれが様々な分野におけるDX施策に取り組み、県全体としてDXが推進されている。

市町の抱えている課題

「県・市町情報人材研究会」の中間とりまとめに基づき、令和4年6月に試行を開始した**県採用の情報システム人材の三原市及び江田島市に対するシェア（複数市町への派遣）**や、**県・市町間でのDX推進に向けた意見交換**を進める中で、**人材の確保・育成に係る課題のほか、次の課題に全県的に対応していく必要性**が明らかとなった。

(1) 情報共有

県や他市町DX施策の共有や、関係者間の情報共有や意見交換の場が少なく、情報が不足している。

(2) システム最適化

ベンダー等と対等にやりとりができる情報システム人材の不足により、システム調達や標準化・共通化に当たり、既存ベンダー依存やベンダーロックインが発生している。

(3) DX推進体制

DX推進計画が策定できていない市町もあり、取り組むべきDX施策の整理ができず、DX推進部門の体制の構築に至っていない。職員のマインドセットなどが進んでいない。

課題を解決するため、「県・市町情報人材研究会」を**発展改組**し、令和5年度から、県・市町で協働してDXを推進し、デジタル人材を採用・活用する枠組みとして、「DXという希望の宙を共に航行する『DXShipひろしま』」を構築する。

2 「DXShipひろしま」の概要

概要

広島県全体のDXを効果的に進めるため、県と市町で協働してDXを推進し、情報システム人材を採用・育成・活用する新たなプラットフォームとして県・市町が参画する枠組みである「**DXShip (デジシップ) ひろしま**」を構築する。

機能

(1) 情報システム人材の採用・育成・活用

- 単独で人材の確保が難しい市町における、県・市・町共同での人材の採用・配属等（人材プール・シェア）
- 県・市町情報システム人材の育成
- 将来的な組織体制の発展（法人化等）の研究

(2) 県・市町のDX推進

① 情報共有

- 市町DX施策の共有，関連部局との連携
- 県・市町CDOフォーラムの開催

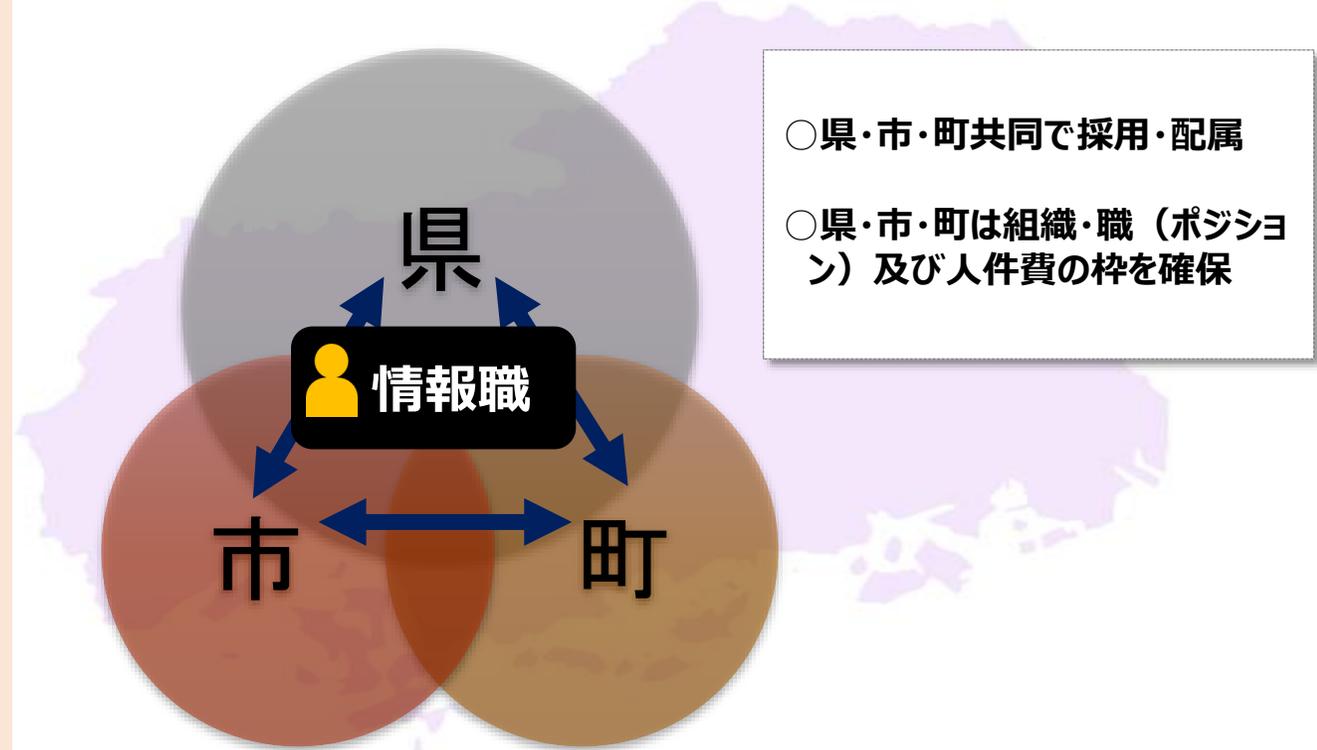
② システム最適化

- 電子申請・電子入札システム等の共同調達
- 市町の基幹系業務標準化・ガバクラ化への円滑な対応

③ DX推進体制整備

- 市町DX推進計画策定及び組織体制整備
- デジタルリテラシー向上研修等の実施

人材プール・シェアイメージ



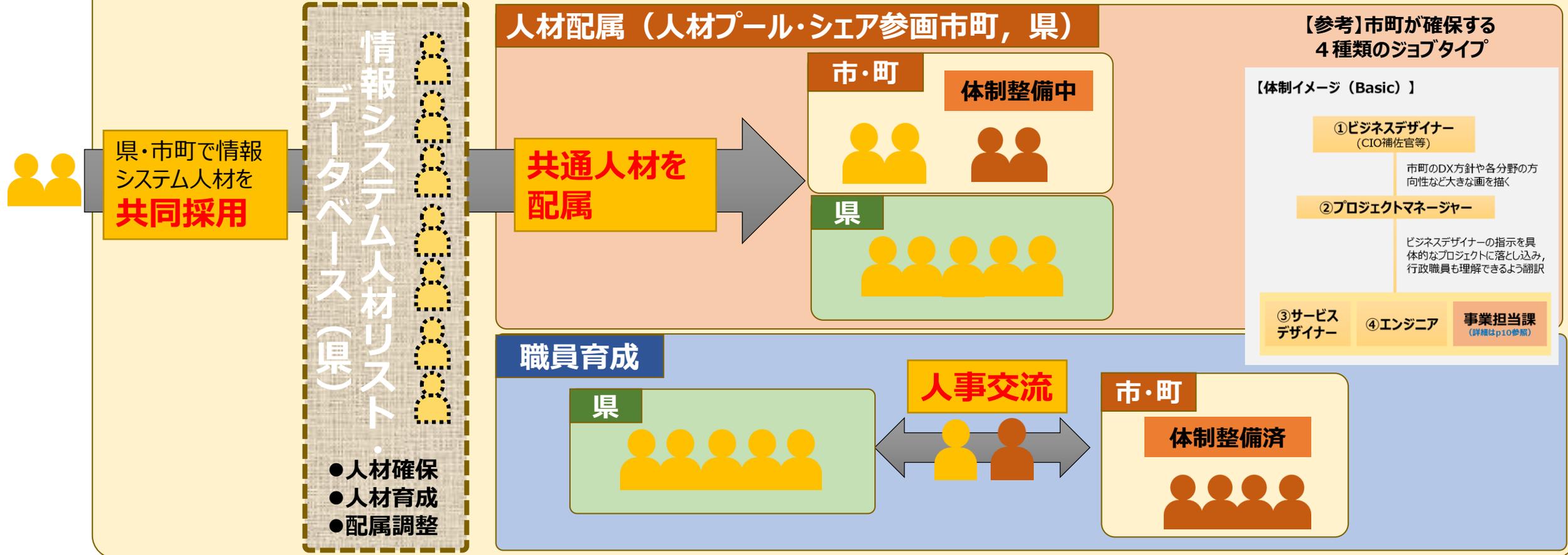
※広島県電子自治体推進協議会の機能を拡充し、(1)は「DX Shipひろしま」として追加する。

3 (1)情報システム人材の採用・育成・活用

人材プール・シェア／人事交流のイメージ

 県・市町共通人材  市町職員

- 県・市町それぞれが情報部門の体制を整備する必要がある。
- 求める人材の確保が単独では難しい市町については、県・市・町共同で採用し、共通人材として配属する。
- 体制整備済の市町においては、人事交流により職員を育成する。



3 (1)情報システム人材の採用・育成・活用の更なる発展・検討

概要

今後、デジタルサービスの多様化・高度化が想定される中で、**より高度な知識・技能等を有する情報システム人材を確保**するためには、既存の行政の任用制度等では獲得が困難となることが予想されることから、将来的には「DXShipひろしま」を発展させ、人材採用・活用に関する機能強化（**法人化等**）を検討する。

検討内容

行政組織においては、制度上の制約等により「**給与**」や「**勤務労働条件**」などの**柔軟な設定に限界**があることから、こうした人材にとって**魅力的な就労環境**を実現するための体制等を検討する。

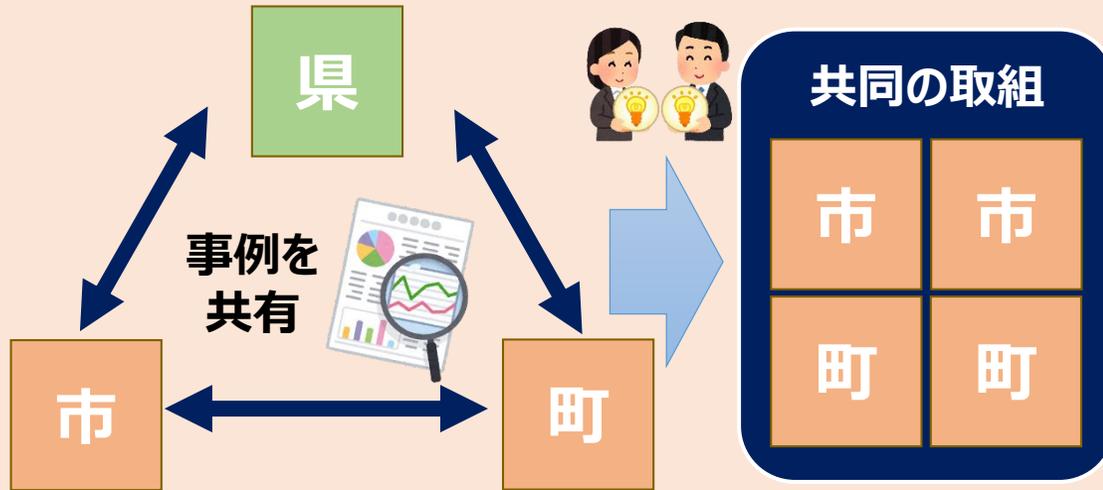
【想定される具体的な取組】

- 民間報酬市場に沿った柔軟な給与設定（ジョブ型の給与体系）
- フルフレックス制度導入など柔軟な勤務形態
- 年齢や国籍，居住地にとらわれない，ポジションに適した人材の採用（ジョブ型任用）
- プロジェクトベースでのスポット任用

3 (2) 県・市町のDX推進 ①情報共有

① 情報共有

市町DX施策の共有

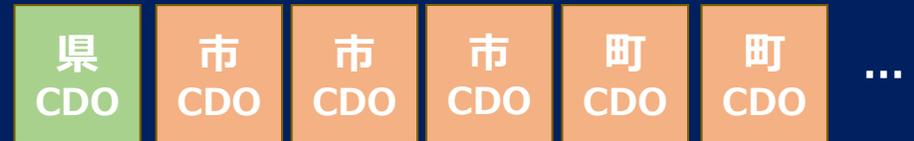


- 県・市町の先進的なDX施策，好事例などを共有
- 情報を共有し，市町共同の取組等につながるよう働きかけ

県・市町CDOフォーラムの開催



広島県CDOフォーラム



- 県・市町の情報政策に関する責任者レベル（CDO等）のコミュニティを形成し，定期的に会議を開催
- 各市町の取組について情報共有
- 全県的な施策の方向性を検討

3 (2) 県・市町のDX推進 ②システム最適化

② システム最適化 県・市町共通人材 市町職員

市町の基幹系業務の標準化支援



- 市町が実施する標準化・ガバクラ移行業務について、技術的側面からサポート
- 仕様書や見積書の適正性チェック
- ITベンダー等との調整・契約
- 情報部門・事業部門の打ち合わせ

電子申請・電子入札システム等の共同調達・共同利用



- 電子申請・電子入札システム等の共通化できるシステムについて共同調達・共同利用
- 県・市町の状況，意見を踏まえ要件定義・仕様決定
- ITベンダー等との調整・契約を実施

3 (2) 県・市町のDX推進 ③DX推進体制整備

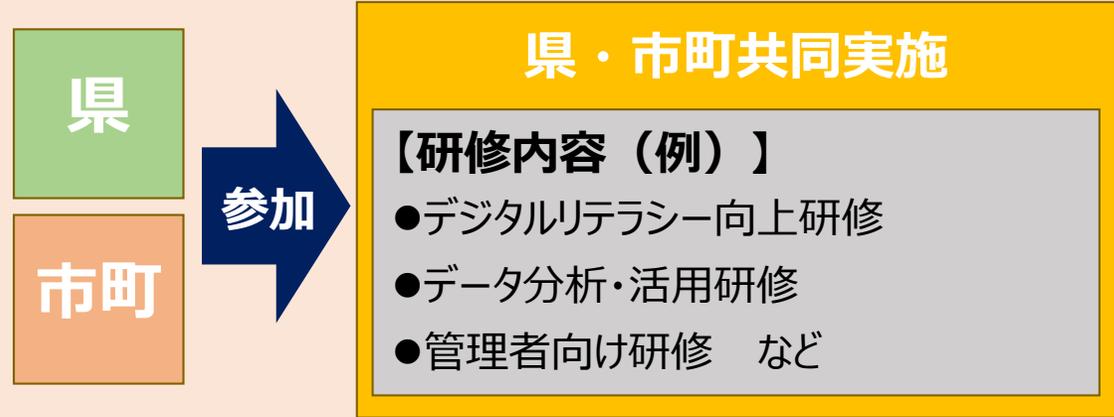
③ DX推進体制整備 県・市町共通人材 市町職員

市町DX推進計画策定及び組織体制整備支援



- R4年度の三原市・江田島市での試行を拡大し、R5年度には更に3市町程度に職員を配属
- DX推進計画の策定（改定）、DX推進部門の体制整理に取り組む市町に対し、職員を配属
- 市町は専任職員を配属し、必要な体制を整備

デジタルリテラシー向上研修等の実施



- 職員一人一人がDXを自分事としてとらえた上で、組織全体のデジタルリテラシー向上を図るための研修や、データ・デジタル技術を活用した課題解決型研修等を実施
- 自治総合研修センターにおける研修やオンライン研修等、内容に応じた最適な手法を検討し、共同で実施

4 スケジュール

R 4 年度

「DXShipひろしま」の構築



- モデル市への県職員の派遣を通じ、DX推進計画の策定やDX推進部門の体制を整理
- 派遣によって得られた知見をベースに整理した、整備すべきDX推進体制について全市町と意見交換
- 県・市町で「DXShipひろしま」の枠組みを整理

R 5 年度

「DXShipひろしま」の開始

START!

- 「DXShipひろしま」の機能について、**順次取組を開始**
 - (1)県・市町CDOフォーラムの開催
 - (2)システムの共同調達、基幹系業務の標準化支援
 - (3)DX推進計画策定及び組織体制整備支援に向けた職員の配属
 - (4)デジタルリテラシー向上研修等の実施
- 人材プール・シェア／人事交流の構築に向けて、**県・市町共通人材の公募を開始**
- 県・市町間での**人事交流を開始**

R 6 年度～

「DXShipひろしま」の運用・発展



- 「DXShipひろしま」は、**取組をすべて開始**し、情勢を踏まえて適宜機能を追加
- 必要な人材の数・種類を揃えて、**人材プール・シェア／人事交流の完成**を目指す
- 人材確保に係る状況を踏まえて、**組織体制等を検討**する。

5 【参考】情報部門（情報システム人材）の役割

